

きっと家族の
命をつなぐ。
きっとその時
役に立つ。

No.
22

キャッシュレス時代の落とし穴

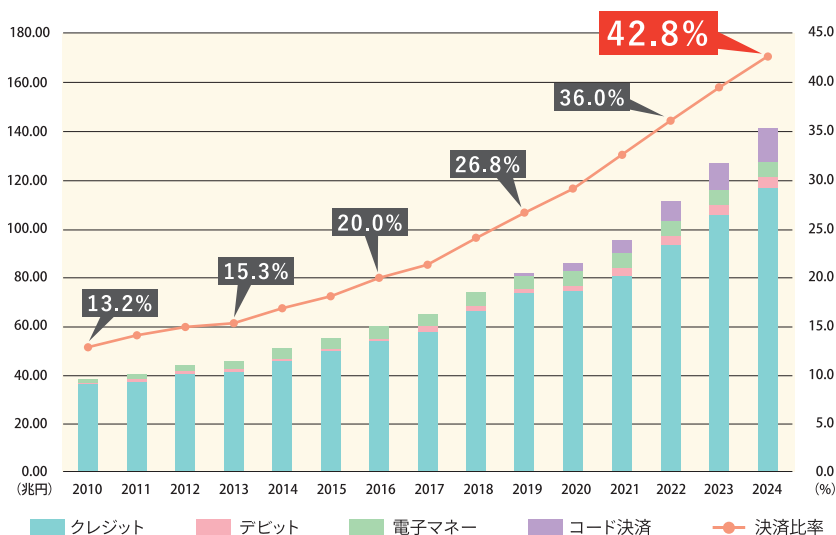
災害時は現金が必須!

2024年の日本におけるキャッシュレス決済比率は42.8%。買い物時の支払いは、今や半分近くが現金以外の方法で行われる時代です。しかし災害の影響で停電になり、インターネット環境や店舗の決済端末に影響が出ると、クレジットカードやバーコード決済が使えなくなります。ATMが停止することもあり、手持ちの現金でしか必要なものを買えない状況に陥る可能性も。車のガソリンや冬場なら灯油など、生活に欠かせないものを買えなくなってしまうと、避難生活へ

のダメージは非常に大きくなります。

電気の復旧は他のライフラインに比べて早い方だといわれていますが、被害の大きさによっては長期化することもあります。非常食や携帯トイレをはじめとする防災グッズだけでなく、現金も「もしものことを考えて、あらかじめ準備しておく」という防災の基本にのっとり、備えを進めておきましょう。

ナテックの「レスキュー」は、女性に人気のキュートな防災ポーチ。現金も一緒に入れておくのにちょうどいいサイズ♪



経済産業省「我が国のキャッシュレス決済額及び比率の推移（2024年）」をもとに作成

災害別の事例

電気復旧までの時間



東日本大震災（2011年3月11日）

東北電力管内では、発災後3日で約80%、8日で約94%の停電を解消。復旧作業に着手可能な地域の停電がすべて復旧したのは6月18日（発災から3カ月後）。

北海道胆振東部地震（2018年9月6日）

北海道全域で大停電（ブラックアウト）が発生。約2日で約99%が復旧した。



令和6年能登半島地震（2024年1月1日）

発災後2週間で8割が復旧。2025年11月時点でも、安全確保などの観点から輪島市内の10戸の家屋で電気が使えない状況にある。

どこに? どれくらい?
どうやって?

現金を 備える ヒント

被災したときのために現金を準備する場合は、
場所や金額、一緒に用意するものも工夫しま
しょう。ナテック流の備え方をご紹介します。



口座番号のメモと 一緒にとっておこう

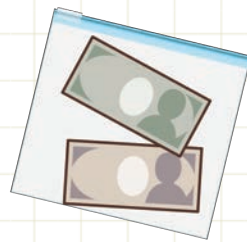
万が一現金がなくなっても、緊急時は運転免許証などの本人確認
書類があれば銀行から預金を引き出せるケースがあります。念の
ため非常用の簡易財布や防災ポーチには、口座番号などをメモし
た紙を入れておきましょう。



ナテックの「ホイッスル付きIDホ
ルダー」を非常用財布の代わり
にして、メモと現金を入れておく
のも◎。身分証明書のコピーも
入れておくことで安心です。

非常用の簡易財布 などに分散を

普段からある程度現金を持ち歩いて
おくほか、非常用の簡易財布を作って
おくのがおすすめ。小さなジッパー付
き袋に入れて防災ポーチの中にし
まっておくなど、普段使いの財布とは
分けて保管を。



こんな場所への
分散もOK!

会社のデスク



車の中



防災リュック



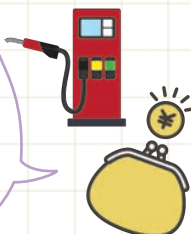
約1週間分の生活費を、 小銭も含めて用意



災害時に備える現金は月の生活費の4分の1
が目安です。お店側も釣り銭切れが発生しや
すいため、できるだけぴったり払えると理想
的。それぞれの硬貨をほどよい割合でためて
おくには、たとえばコンビニで買い物したと
きのお釣りを「防災貯金」としてためるなどの
方法がおすすめです。

その他の“小銭をためる”アイデア

- ガソリンは現金払いと決めておき、
おつりをためる
- 毎月決まった日に財布をチェックし、
小銭のみ取り出してためる



生活費の貸し付けなど いざというときの 諸制度を知っておこう



災害でけがをしたり、家屋に深刻な損害があった場合は、生活
費の貸し付けや子どもの就学援助などを受けられる場合があり
ます。甚大な被害があったときのために、ど
んな制度があるのかを知っておきましょう。

政府広報オンライン▶

「被災したときの生計の維持」



“サステナ防災”に
取り組んでいます!

ナテックは土に還る素材のホイッスルや使い捨て食器な
ど、環境に配慮した素材で製品をつくっています。誰もが備
える必要があるからこそ、防災グッズもサステナブルに!

Instagramで最新情報を発信中!
見てほしいかも♡



Instagram



ECサイト



NATEC EMERGENCY
公式キャラクター ナテくま

発行者 株式会社ナテック 住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地

TEL 052-449-6222 MAIL natec-emergency@natec01.co.jp kit No.22